

# 予防接種を受けられる方へ

## <ワクチンの効果と副反応>

予防接種には、特定の感染症の発症を予防したり、症状を軽くし重症化や死亡を予防する効果が期待されます。

比較的多くみられる副反応として、接種部位に発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、小水疱などがありますが、通常 2～3日で消失します。また、全身症状として、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛、咳嗽、動悸などが認められることがありますが、通常、一過性のもので数日以内に消失します。

まれに、ワクチンの接種直後から数日中に発疹、じんましん、湿疹、多形紅斑、紅斑、かゆみなどが現れたり、蜂巣炎(細菌による化膿性炎症)、顔面神経麻痺などの麻痺、末梢性ニューロパチー、失神・血管迷走神経反応、しびれ感、ぶどう膜炎が現れたりすることがあります。また、非常にまれですが、次のような重大な副反応がみられることがあります。①ショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管浮腫など)、②急性散在性脳脊髄炎(接種後数日から 2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など)、③ギラン・バレー症候群(両手足のしびれ、歩行障害など)、④けいれん(熱性けいれんを含む)、⑤肝機能障害、黄疸、⑥喘息発作、⑦血小板減少性紫斑病、血小板減少、⑧血管炎(アレルギー性紫斑病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、白血球破砕性血管炎など)、⑨間質性肺炎、⑩脳炎・脳症、脊髄炎、⑪皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、⑫ネフローゼ症候群。なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

## <予防接種を受けるときの注意>

1. インフルエンザワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう。
2. 受ける前日は入浴(またはシャワー)をして、体を清潔にしましょう。
3. 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
4. 清潔な着衣をつけましょう。
5. 予診票は医師への大切な情報です。正確に記入するようにしましょう。
6. 予防接種を受ける方がお子さんの場合、母子手帳を持っていきましょう。

## <予防接種を受けることができない人>

1. 明らかに発熱のある人(37.5℃以上)
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 過去に今回受けるワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人(他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前に医師へその旨を伝え、判断を受けることになります)
4. その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

## <予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない人>

1. 発育が遅く、医師や保健師さんの指導を継続して受けている人
2. カゼなどのひきはじめと思われる人
3. 家族、遊び友達、クラスメートのあいだに麻しん(はしか)、風しん、おたふくかぜ、水痘(みずぼうそう)などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことがない人
4. 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある人
5. 前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
6. 今までにけいれんを起こしたことがある人
7. 過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
8. 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患のある人
9. 薬の投与または食事(鶏卵、鶏肉その他の)で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
10. 妊娠の可能性のある人

## <予防接種を受けたあとの注意>

1. 接種後30分間は病院にいて様子を観察し、アレルギー反応などがあれば医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
2. 接種後24時間は、副反応の出現に注意しましょう。
3. 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
4. 接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただし、はげしい運動や大量の飲酒は避けましょう。
5. 高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

## <他のワクチンとの接種間隔>

1. 「注射生ワクチン」の接種後27日以上の間隔をおかなければ、「注射生ワクチン」の接種を受けることはできませんが、それ以外のワクチンの組み合わせでは、前のワクチン接種からの間隔にかかわらず、次のワクチンの接種を受けることができます。
2. 前回接種後の発熱、接種部位の腫脹、体調不良などがあれば、接種が可能な期間であっても、必ず、医師に相談の上、接種を受けてください。